

# カンキツ育苗期間中の新系統薬剤の防除効果(2)

近年、育苗期間中のカンキツに対し、ネオニコチノイド系殺虫剤では十分な防除効果を得ることができないハマキムシ類による被害が増加している。そこで、新系統殺虫剤のうちハマキムシ類に対して防除効果が高い薬剤を探索した(カンキツを加害する種は主にチャノコカクモンハマキ、チャハマキ、ミカンマルハキバガの3種であるが、夏芽以降問題となるのはミカンマルハキバガが多い)。

カンキツを加害する主なハマキムシ類



チャノコカクモンハマキ成虫

ミカンマルハキバガ幼虫

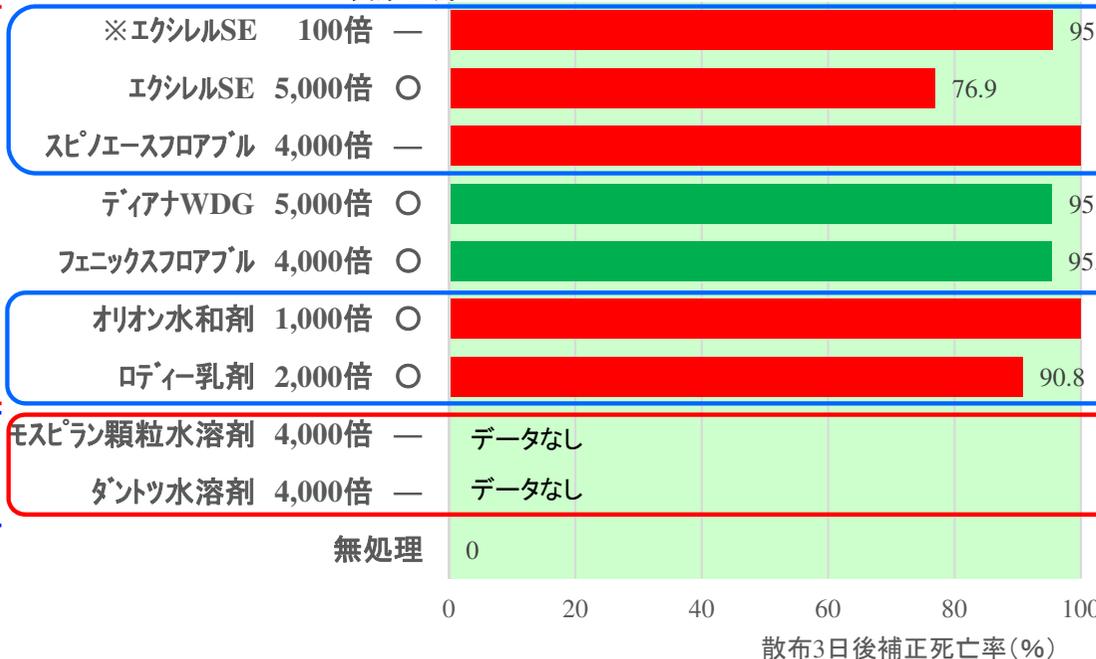
ハマキムシ類による新梢の被害



若葉を筒状に巻き込み、その中に潜り込んで食害する。甚だしい場合は新梢が枯死する。

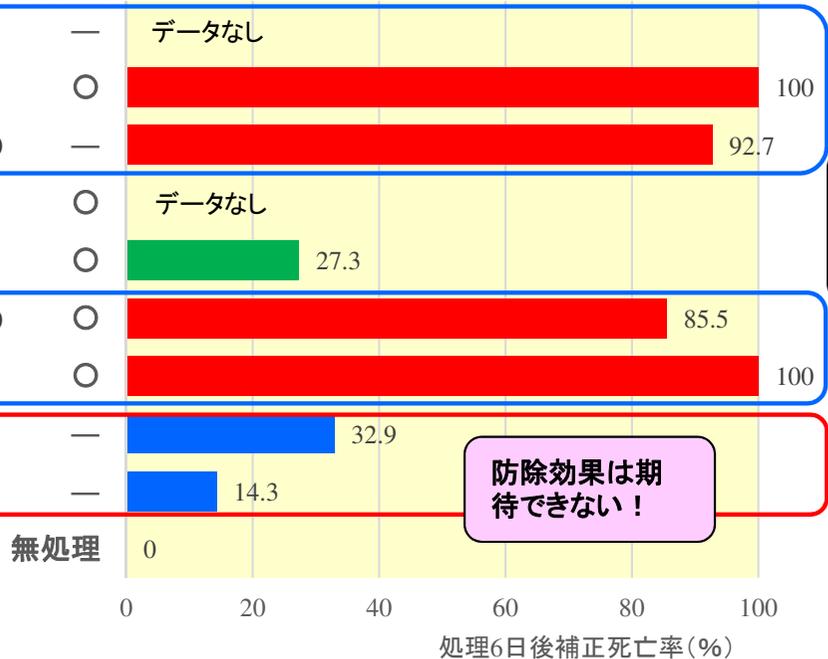
ミカンマルハキバガに対する防除効果

農薬登録 R元年9月2日薬剤散布、9月5日調査



チャノコカクモンハマキに対する防除効果

農薬登録 H30年9月20日処理、9月26日調査(室内試験)



防除効果は安定している!

防除効果は期待できない!

※エクシレルSE 100倍は、かんきつ(苗木)登録がある。

他系統殺虫剤

ネオニコチノイド系